

【 診療科:血液内科 】
 【 レジメン登録番号:IG-1 】

〈 ABVD(d)療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	28			
エクザール	6mg/m ² (max10mg/body)	iv or div	○												○		
ブレオ	9mg/m ² (max15mg/body)	iv or div	○												○		
アドリアシン	25mg/m ²	iv or div	○												○		
ダカルバジン	375mg/m ² (ABVdでは250mg/m ²)	div	○												○		

【1コース期間:28日】

【総コース数:早期なら4コース。進展期では6~8コース】

【適応癌種:ホジキンリンパ腫】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.2	デキサート 13.2mg	div(30分で)
	5-HT ₃ RB 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	エクザール 6mg/m ² (max10mg/body)	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	ブレオ 9mg/m ² (max15mg/body)	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.5	アドリアシン 25mg/m ²	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.6	ダカルバジン ^{※3} 375mg/m ² (ABVd では 250mg/m ²)	div(1時間で)
	生理食塩水 ^{※2} 500mL	

【参考文献:Phase II study of ABVd therapy for newly diagnosed clinical stage II -IV Hodgkin lymphoma:

Japan Clinical Oncology Group study (JCOG 9305)

【備考:※1...維持ルートは、他の輸液でも構わない。

【備考:※2...補液は、YDソリタT3号等でも構わない。

【備考:※3...点滴静注する場合には、本剤による血管痛を防止する目的で、点滴静注経路全般を遮光して投与すること。

【変法情報:アドリアシンはテラルピシン(用量は同じ)に変更することがある。

}
}
}
}